

調達管理番号・案件名

25a00587_ヨルダン国適切な土地管理のための統一国家地理座標システム実現に関する能力強化プロジェクト

質問と回答は以下のとおりです。

2025年12月8日

| 質問番号 | ページ | 項目 | 質問内容 | 回答 |
|------|-----|----------------------------|--|---|
| 1 | 0 | 0 | <p>ラマダン期間中の渡航および現地活動の実施について、安全面などの観点からの制限はありますか？</p> | <p>ラマダン期間中の渡航・現地業務(本部からの出張者含む)は禁止まではしていないものの、この期間中の渡航や現地業務は基本的に推奨しておりません。 また、3月はラマダン明けの祭り(Eid Al Fitr)で3/19-23、5月は犠牲祭(Eid Al Adha)等で5/25-30が休日となりますので、その点も留意が必要です。</p> <p>ヨルダン国の安全管理上の留意事項は別紙のとおりです。</p> |
| 2 | 11 | (7)技術者育成と研修活動 | <p>研修、セミナー、ワークショップについて特記仕様書で想定している内容は以下の理解で正しいでしょうか？ ・研修とセミナー(一部重複):合計5回、CORSの技術と利活用、官民学のプロジェクト関係者が対象、活動3-1の全部と3-4の一部として実施する ・ワークショップ:回数は想定無し(提案者が提案する)、内容は上記研修の実践と応用、活動3-2に含まれる</p> <p>理解が異なるようでしたら、それぞれの内容、回数、活動との関連をご提示いただけないでしょうか。</p> | <p>以下の理解でご検討いただけますと幸いです。</p> <p>【研修】 ・内容:ITRF理解、CORS運用・保守、GNSS操作等 ・回数:現地約5回+本邦2回 ・活動:活動3-1・3-2</p> <p>【セミナー】 ・内容:ITRF普及、CORS利活用促進 ・回数:約5回(研修と一部重複) ・活動:活動3-4</p> <p>【ワークショップ】 ・内容:研修内容の実践・応用 ・回数未定(提案を含む) ・活動:活動3-4</p> |
| 3 | 13 | (1)プロジェクトの活動に関する業務 ① 活動1-4 | <p>PDMのActivity1-4は「for operation and maintenance (O&M) of CORS and Data Centers」ですが、企画提案書の活動1-4は「CORS・データセンターの維持管理のための」となっています。この維持管理には、運用(例えばITRF座標の計算)を含むと考えてよろしいでしょうか？</p> | <p>ご理解の通りです。維持管理には運用が含まれます。</p> |
| 4 | 13 | (1)プロジェクトの活動に関する業務 ① 活動3-2 | <p>民間セクターの測量士(測量士協会や民間企業に所属する測量士)に対して、RJGC、DLS、測量士協会、事業者、大学等の該当関係者(PDMのActivity 3-2では「relevant stakeholders」)が合同で研修を行うと理解してよろしいでしょうか？</p> | <p>ご理解の通りです。一方、第2章【1】1-2で示しているように、テクニカル・キャパシティとコア・キャパシティの両面からのキャパシティビルディングを目的とし、全てのステークホルダーが知見を交換し、相互に学び合う場としての設計を求めます。</p> |
| 5 | 17 | (5)事業完了報告書 | <p>「発注者指定の様式に基づき作成する。」とありますが、貴機構Webサイトには適当な様式が見当たりません。様式をご提示いただけないでしょうか。</p> | <p>英文様式は別紙2のとおりです。 事業完了報告書につきましては、今後様式が変更になる可能性も踏まえ、特記仕様書には詳細を記載しておりません。現時点での様式を添付しておりますので参考にしていただけますと幸いです。</p> |

以上

別紙

1. ラマダン期間中の留意点

ラマダン期間中は勤務時間が変更され、7時半～10時、15時～17時が交通のピークとなります。通常に比べ空腹や睡眠不足からドライバーの注意力が散漫になり交通事故が起きやすくなりますので、ラッシュ時間帯での外出や車の運転には注意して下さい。

特にイフター前(3月1日のアンマンの日没は17:34)は、帰宅を急ぐ人が集中し交通渋滞が発生しやすくなるのに加え、スピードをあげて走る車も多くみられることから、イフター前の車両での移動は極力控えるようにしてください。また、歩行の際も前後左右から来る車には十分注意を払うようにしてください。

タクシー、レンタカー等に乗車する際は、空腹や睡眠不足でドライバーの集中力が散漫になることもあるため、ドライバーの様子に注意し、運転が怪しくなる等の事態があれば注意するか、車を変える等の対応をとってください。

ヨルダンでは最近テロ事案は発生していませんが、世界的にはラマダンはテロの発生リスクが高い時期であること、最近のガザ情勢もあり発生する可能性も高まっていることから、改めてテロ対策について理解を深めていただくようお願いいたします。

また、1月末のトランプ大統領のガザ発言後、ヨルダン国内ではパレスチナとの連帯を主張するデモが多く発生しています。今後の情勢変化によりデモが激化する可能性もありますので、ご留意ください。

なお、2016年のダッカテロ事件もラマダンの最終金曜日に発生しているほか、他国ではラマダン中にドライバーが注意散漫となったことにより関係者が亡くなる事故も発生しています。

2. ヨルダン事務所行動規範

・夜22時以降は原則外出禁止。

・日没後から日の出前の都市間移動(アンマン市内からQAIA往復は除く)は、業務上やむを得ない場合、または運行スケジュール上、夜間の長距離バスに乗らざるを得ない場合を除き原則禁止。

・非合法営業のタクシー(白タク)は利用しない

・常時連絡出来るように、携帯電話は常に電源をOnにして携帯、バッテリー切れにならないよう充電にも留意

・以下の場所へは立ち入らない(当面の措置):なお、(3)、(4)、(5)については、必要な場合は、事務所にて個別に判断する為、事前に相談する事。

(1)アルコールの提供を主目的としている飲食店(バー、クラブ等)

(2)外国人が多く集まる比較的目立つ飲食店(レストラン、バー、クラブ等)

(3)欧米系外国資本の高級ホテル、立地や構造上テロに狙われやすい(大通り沿いで建物内に容易に入り込める等)ホテル

(4)欧米権益関連施設(米国、英国、イスラエル等の公館、企業)、治安関連施設(軍・警察等)

(5)大規模なイベント

(6)デモ・集会・群衆・パレード

・必要最小限のアクセスにとどめる施設

(1)空港、駅、バスターミナル、港湾等、公共交通関連施設

(2)不特定多数の人が集まる場所(ショッピングモール、大型スーパー等)

・必要がない限り避ける／注意を払うべき施設

(1)教会、モスク等の宗教関連施設

(2)外国人が多数利用する場所(有名観光地等(上記以外))

(3)不特定多数の人が集まる場所(繁華街、映画館、劇場等)

(4)ガラスを多用した施設(ブティック街、雑居ビル等)

Project Completion Report

I. Basic Information of the Project

1. Country
2. Title of the Project
3. Duration of the Project (Planned and Actual)
4. Background (from Record of Discussions(R/D))
5. Overall Goal and Project Purpose (from Record of Discussions(R/D))
6. Implementing Agency

II. Results of the Project

1. Results of the Project

- 1-1 Input by the Japanese side (Planned and Actual)
- 1-2 Input by the ●● side (Planned and Actual)
- 1-3 Activities (Planned and Actual)

2. Achievements of the Project

- 2-1 Outputs and indicators
(Target values and actual values achieved at completion)
- 2-2 Project Purpose and indicators
(Target values and actual values achieved at completion)

3. History of PDM Modification

4. Others

- 4-1 Results of Environmental and Social Considerations (if applicable)
- 4-2 Results of Considerations on Gender/Peace Building/Poverty Reduction, Disability, Disease infection, Social System, Human Wellbeing, Human Right, and Gender Equality (if applicable)

III. Results of Joint Review

1. Results of Review based on DAC Evaluation Criteria
2. Key Factors Affecting Implementation and Outcomes
3. Evaluation on the results of the Project Risk Management
4. Lessons Learnt
5. Performance
6. Additionality

IV. For the Achievement of Overall Goals after the Project Completion

1. Prospects to achieve Overall Goal
2. Plan of Operation and Implementation Structure of the ●● side to achieve Overall Goal
3. Recommendations for the ●● side
4. Monitoring Plan from the end of the Project to Ex-post Evaluation

(If the Project will be continuously monitored by JICA after the completion of the Project, mention the plan of post-monitoring here.)

ANNEX 1: Results of the Project

(List of Dispatched Experts, List of Counterparts, List of Trainings, etc.)

ANNEX 2: List of Products (Report, Manuals, Handbooks, etc.) Produced by the Project

ANNEX 3: PDM (All versions of PDM)

ANNEX 4: R/D, M/M, Minutes of JCC (copy) (*)

ANNEX 5: Monitoring Sheet (copy) (*)

(Remarks: ANNEX 4 and 5 are internal reference only.)

Separate Volume: Copy of Products Produced by the Project